

---

年 組 名前

---

次の（ ）に入る言葉をスライドプリントから探して記入しましょう（40点満点）

<消化器系解剖学>

1. 消化器系とは、摂取した食物を（ ア ）できるていどにまで小さく分解、（ イ ）し、栄養として血液中に送ったり、（ ウ ）されなかったものを便として排泄する器官のことをいう。
2. 消化管の壁は、粘膜、筋層、漿膜よりなり、消化管の内腔面の内層は（ エ ）である。
3. 口腔は、粘膜に覆われている。また、口唇は、粘膜から皮膚に移行する部分であり、（ オ ）と通じている。
4. 舌は、横紋筋からなり、その表面は口腔粘膜に覆われており、口腔内での（ カ ）、味覚、（ キ ）に関係している器官である。
5. 咽頭は、食べ物の通り道でもあるが、（ ク ）としても働く。しかし、この両方の役割を同時に果たすことはできない。
6. 食道とは、長さ（ ケ ）cmの管である。食道の途中には細くくびれた部分が3か所あり、これを（ コ ）という。
7. 胃は、食道に続く嚢状の器官である。胃の入り口を（ サ ）、出口のことを（ シ ）という。また、胃の出口である（ ス ）には括約筋があり、輪走筋が発達している。
8. 胃は、食物を一次的に蓄える場所であり、（ セ ）と混ぜ、消化する役割をする。
9. 小腸は、十二指腸と（ ソ ）と回腸に区別され、栄養の消化、（ タ ）の大部分を担う器官である。
10. 小腸の内面には、多数の輪走する（ チ ）があり、粘膜は（ ツ ）に覆われている。（ テ ）には、密な毛細血管網、平滑筋があり、動脈や静脈が出入りしている。そのため、栄養を（ ト ）する装置としての働きを担うことができる。
11. 十二指腸は、（ ナ ）字状に湾曲し、長さは（ ニ ）よりもやや長い25~30 cmの器官であるが、その下行部は、胆嚢からの（ ヌ ）と膵臓からの（ ネ ）を運ぶ総胆管と膵管が合流して（ ノ ）が開口している。
12. 小腸のうちの空腸には、丈の（ ハ ）輪状ヒダが多いが、回腸のヒダは（ ヒ ）、少ない。
13. 大腸は、盲腸と（ フ ）、結腸、（ ヘ ）に区別される。

14. 直腸の下部には、（ ホ ）があるため、意志により肛門を閉じておくことができる。

15. 膵臓は、膵液を分泌する（ マ ）とホルモンを分泌する（ ミ ）からなる。

16. 内分泌腺（ランゲルハンス島）のA細胞から（ ム ）、B細胞から（ メ ）が分泌される。

17. 肝臓は、腹腔の右上部にある器官で、重量は体重の（ モ ）である。また、（ ラ ）という薄い膜によって右葉と左葉とに分けられる。

18. 胆嚢は、（ リ ）の下面に付着する長さ約 8 cmの嚢状の器官であり、その内面は（ ル ）に覆われ、肝臓で生成された（ レ ）を一時蓄え、かつ（ ロ ）する。